

年次総会を開催

佐藤会長が留任

J E R 補改修協会

J E R コンクリート補改修協会は8月3日、札幌市中央区の札幌パークホテルで定期総会と研修会を開催した。任期満了に伴う役員改選では、佐藤匡良会長が留任した。

冒頭、登壇した佐藤会長（写真）は「新技術の開発に力を注ぎ、インフラ保全に貢献していく。また、組織の横のつながりを活かして会員の連携を強化し、力を合わせて

共存共栄を目指している。協会がさらに発展するためにも、積極的に活動を推進して参りたい。各位の協力を期待する」と挨拶した。

続いて、佐藤会長が議長に選任され、議案審議



に入った。審議されたすべての議案は満場一致で可決承認された。新年度の事業計画としては、展示会出展などで組織の知名度向上を図るほか、水

処理分野以外への市場拡大を目的に関連技術の拡充を図る方針を固めた。また、技術委員会活動を改革して意見交換の機会を充実させるとともに、コンクリート防食技士の増加を目指す。

続いて、日本下水道事業団事業統括部調査役・中島良幸氏を講師に迎え「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」をた。